

Q52. リン吸着剤の飲み方の注意点を教えてください。

A.

リンとカルシウムは、主に骨格の成分となります。また、リンは筋収縮に際してのエネルギー生産にも必要なものです。

腎臓が正常な場合体内の余分なリンは、尿や糞便の中に含まれて体外へ排出され、血液中のリン濃度は一定に保たれます。しかし、腎不全となり尿の排泄障害が起こるとリンの除去は、糞便からと透析からとのみでしか体外へ除去されず、リンが血液中に蓄積されてしまうのです。

リンとカルシウムは、ちょうどシーソーの関係にあり、血液中のリンが増えすぎると逆に血液中のカルシウムは減少してしまいます。すると、血中カルシウム濃度を一定のレベルに戻すために骨の中のカルシウムが血液の中に移行します。このため、骨の中のカルシウムが不足し、骨がもろくなり、いわゆる骨粗しょう症の状態となります。またカルシウムが骨以外の内部組織に沈着して異所性石灰化という症状が起こり関節の痛みの原因となります。

また、腎不全では低カルシウム血症になりやすいのです。それは腸でのカルシウム吸収に必要なビタミンDが活性化されにくくなるため、いくらカルシウムを食べても腸管からのカルシウム吸収能力が低下しているため骨になりにくいのです。低カルシウム血症と高リン血症が続くと副甲状腺ホルモン（PTH）の分泌が盛んとなり、副甲状腺が肥大してきます。副甲状腺ホルモンの分泌が盛んになれば、骨からカルシウムが溶け出してされに骨がもろくなります。この状態は二次性副甲状腺機能亢進症と呼ばれます。

炭酸カルシウム・レナジェル（リン吸着剤）服用時の注意点

炭酸カルシウム・レナジェルは、食物中のリンを吸着して、体内に吸収されないようにする目的で使われる薬です。

- ・食事中や食直後に服用する方が、食物に含まれるリンを吸着する作用が強く効果的です。
- ・例えば、炭酸カルシウム・レナジェルの内服が1日3回でも食事を抜いた場合は、服用しても意味がありません。
- ・リンが多く含まれている食事が夕食に多い場合は、1日量の内服を均等にするのではなく、食事内容により服用方法を変える方が効果的な場合もあるので、医師に相談してください。
- ・炭酸カルシウムは、多量に服用すると、血液中のカルシウム濃度が高くなり、骨以外の場所にカルシウム沈着を起こす恐れがあるので、用量には限界があります。
- ・薬を服用すると同時に、リンを取り過ぎないようにすることが大切です、適切な食事療法の実践が重要です。

看護師